

科名 呼吸器外科
 対象疾患 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
 プロトコール名 RAM+DOC

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	コメント	1 ... 3 ... 15 ... 21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓
2	点滴注	側管	デキサート注	6.6mg	30分かけて	↓
			生理食塩液	50mL		
3	点滴注	側管	ネオレスタール	10mg	30分かけて	↓
			生理食塩液	50mL		
4	点滴注	側管	サイラムザ	10mg/kg	初回60分、2回目以降忍容性が良好であれば30分	↓
			生理食塩液	250mL	2回目まで1時間休薬要。全量250mLとする	
5	点滴注	側管	ドセタキセル	60mg/m ²	60分かけて	↓
			生理食塩液	250mL	壊死性抗癌剤	
6	皮下注		ジーラスタ	3.6mg		↓

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

<サイラムザ>

投与前後生食フラッシュ蛋白質透過型フィルター(0.2または0.22ミクロン)(回路名:JY-PF340P52)使用

1コース目、2コース目はインフュージョンリアクション観察のため投与後1時間ルートキープにて休薬する。3コース目以降は省略可

用量規定因子: 高血圧、蛋白尿

<ドセタキセル>

調製時、完全に溶解、混和したことが確認できるまで緩やかに混和操作を繰り返すこと。

アレルギー好発時期: 初回、2回目

投与開始から10分間はベッドサイドを離れない。

初回のデキサートの増量は不要

薬剤の特徴により1mL=20滴としないため滴下数を1.5倍にする。

(1hrで滴下する場合126滴/分)